

第13回「親子キャッチ575」 最優秀作品と表彰式

青少年育成市民会議

「親子キャッチ575」の作品募集に、市内の小中学校、高等学校からたくさん応募をいただき、4,390点の作品が集まりました。そして、表彰式は平成28年11月13日、碧南市文化会館で行われ、最優秀作品、優秀作品の合計30点が表彰されました。

作品のテーマは、「家族・地域の絆」「命の大切さ」「人への思いやり」で、親子の絆の強さを感じるものや、温かい家族の様子が浮かんでくるものなど、感心したり、感動したり、うれしい気持ちになったりする作品がたくさんありました。



受賞されたみなさん



最優秀賞を受賞された親子

第13回 親子キャッチ575 最優秀作品

呼び方を
ママから卒業 お母さん
お母さん
なんだか変に 照れくさい
母

雨の日に
送りむかえを ありがとう
新川中一年 原田 千瑚
祖父

やめてくれ
授業参観 手をふるの
新川中二年 高村 翔吾
母

思春期で
忘れてしまっ 思いやり
南中三年 夏目 達希
母

そのことを
気付けるあなたに 一安心
母

なやみごと
すなおに伝える 父と母
碧南工業高一年 鈴木 蘭人
父母

良い環境
作り出すのが 親仕事
父

一生続くよ この応援
父

悪いけど
お父さん
そんなに応えん はずかしい
日進小五年 石橋 寿珠
父

ツバメさん
今年もわが家に やって来た
新川小四年 岩瀬 日和
母

子育ての
気持ちは同じ 無事巣立
母

お買い物
重たいにもつ ぼく持つよ
棚尾小三年 山田 大貴
母

まあステキ♡
小さな紳士 頼もしい
母

がんばれと
母のこえ聞き 二人ぬく
棚尾小二年 おがさわら けんた
母

順位より
必死な姿に 金メダル
母

いつてきます
ひとりではいけるよ つながる
中央小一年 もみやま ちえみ
母

見つかった！
こっそりあとを つけてるの
母

碧南市青少年育成市民会議より

ふれあい

編集発行
碧南市青少年育成市民会議
碧南市源氏神明町4
TEL (0566) 42-3511

2017年成人式『道～いままでとこれから～』

成人式実行委員長
HEXPO 2年 立澤 和人

僕たち、碧南市成人式実行委員の13人は、たくさんの方々のご協力のもと、1月8日に無事成人式を終えることができました。

今回の成人式は、「感謝」「自覚」「挑戦」という柱を新成人に伝えたいと実行委員で考えました。そのために、人生を道に例え、過去の道から未来の道へ進んでいく様子を思い浮かべられるよう、「道～いままでとこれから～」というテーマのもと、式全体を構成しました。

○過去の道：今までみんなは勉強・スポーツ・習い事など、何かに挑戦してきたはず。その挑戦には、必ず支えてくれた人たちがいると思うので、その人たちへ感謝をする。

○未来の道：一人一人、それぞれの感謝を自覚し、次は自分が誰かに感謝されるように挑戦して欲しい。

これまで進んできた道とこれから進んでいく道の大切さを感じてほしいと思い、式の中で、「語り」「手紙」「スライドショー」「ムービー」を行いました。

約1年にわたる成人式の準備の中で、実行委員13人にはそれぞれ学業・アルバイト・仕事があるため、そろっての作業や練習がなかなかできませんでした。

しかし、市生涯学習課の職員の方を始め、周りの先輩など多くの方々の協力のおかげでこのような最高の成人式をやり遂げることができました。



式が終わったときには、達成感と感動で胸がいっぱいになり、この13人の仲間と最後までやり切れたことが最高に幸せでした。

また、多くの新成人から「感動した」という感想をいただきました。成人という節目の時に、新成人がこれまでの感謝やこれからの挑戦について考える素敵な式にできてよかったです。

成人式実行委員会の活動は一区切りを迎えましたが、この経験を活かして、来年の成人式実行委員会のサポート、HEXPOの活動、それぞれの夢に向かって頑張っていきます。

この成人式はたくさんの方々の協力があったからこそ成功させることができました。たくさん支えられ応援していただきました。

今、改めて自分の道を振り返り、周りの人に感謝し、それぞれの新しい道を歩いていこう。



自分の価値観を変えられたら

碧南市保育所父母の会連絡協議会

石 川 操

春先、熱田福祉会けやきの木保育園の園長先生の講演会がありました。その講演会では、「子育て中のお母さんのストレスは、よい母でなければいけないと思う自分の価値観からのストレスが最も多い。自分の価値観を変えることで随分楽になることができる。」とおっしゃって見えました。

確かに、「給食はなんでこんなにおいしいのかなあ。」と言う娘の言葉を、「家で食べる料理がおいしくないってことか。」ととれば、心穏やかではありませんが、「好き嫌いをなく何でもおいしく食べられる子に育ててくれてよかったなあ。」ととれば、とても嬉しいことになります。

物事を「どうみるか」で、肯定的にも否定的にもとらえることができます。自分の価値観を少し変えるだけで、ストレスをためることなく人に優しく接することができる、それを見て子どもが優しく育ってくれる、そんな生き方ができたら素晴らしいなと思いました。



親が変われば、子どもも変わる

碧南高等学校PTA会長

杉 浦 速 太

今の子どもたちは、「遊び」を通じて体験・交流することが少なく、室内での孤立型の遊びが増えています。学年が上がるにしたがって、「ゆとり」のない生活を送るようになり、体験から学ぶ機会が減少していると思われます。自然の中で驚きや感動を味わい、豊かな感性を身につけ、集団の中でルールを守ることや我慢すること、他人を思いやる心や協調性、責任感などを学びます。

しかし、青少年の非行が大人の生活の反映であるとすれば、青少年の健全育成は、大人の反省なしには実現しません。

「親が変われば、子どもも変わる」

子どもは、親の鏡と言われるように、子どもは親の姿勢や態度を見て育ちます。これらのことを自覚し、自らの生き方を見直し、姿勢を正していかなければなりません。親自身が変わっていく必要があると思います。

子どもは親を見て育つ

碧南少年野球育成連盟

鳥 居 正 治

昨年、18歳以上から選挙において投票することが出来ることになり、従来の投票率が上がるかと思わせるような、報道がありました。しかし、予想どおりの低い結果に終わり、大人も子どもも、政治にはまったく興味がない模様で、がっかりしました。

私には、2人の子どもがいます。選挙報道・政治番組を家族全員で聴衆し、その結果、親子共々、投票を棄権したことがありません。

皆さんは、仕事にかまけて、忙しがっていませんか。若い皆様に、押しつけるわけでもありませんが、テレビや新聞などのメディアが盛り上げてほしいと思います。

「私はこれまで、一度も選挙に行ったことがない」と公言する人。「身内が立候補したから、応援よろしく」「わが市から大臣を」と勝手すぎませんか。

子どもと共に新聞を読み、テレビ放送を見て言葉をかわし、親子の絆を深め、家族のため、日本のため、世界のために頑張りましょう。スポーツに興味に、家庭に対話を深めましょう。

見守ることの大切さ

碧南市おやじの会連絡会

長 谷 川 哲 巳

子育ては何歳までするのでしょうか。子どもが社会人になれば一人前の大人として認め、子育て終了。いやいや結婚するまでは、孫の顔を見るまではと子どもの成長をいつまでも見ていたい、関わっていたいと思うのは親の心情ではないでしょうか。

子どもが小さい頃は、あれはやってはダメ、これはしなくてはダメ、命令が子育てになっていました。ダメダメではなく、こうしてはどうか、こうした方がいいのかな、と問いかけ式にしてみると答えがでるまでに時間がかかります。自分にとってはもどかしいですが、子どもにとっては考える力や自己責任感、自発力が生まれてきます。

成長と共に子どもとの接し方も変わっていきますが、変わらないことはいつも笑顔で見守ること。なかなか見守るということはむずかしく、いつまでたってもどんなときも迷い悩みながら子どもと共に親として育っています。

今年も帰ってきたら玄関で家族の靴をそろえる。娘はこんな靴を履いていたんだ。親の靴も古くなってきたから新しいのをプレゼントしようかな。と違う視線で考えると楽しいこともありますよ。

おやじの会

おやじの会は、平成10年に棚尾地区の小学校5、6年生の父親たちが「棚小おやじの会」を組織し、活動をスタートし、その後、市内の他の地区にも広がっていきました。活動のねらいは、「父親同士の交流を図って連帯感を高めること」「子育てを母親任せにしないで、父親も家庭教育に関心を持ち、子どもの理解を深め、子どもからの信頼を得ること」です。

きらきらウォーク パトロール活動

平成28年12月17日(土)



寒空の下、市内6地区のおやじの会が協力をして、パトロール活動をしました！！

各地区おやじの会



新川おやじの会



大浜おやじの会



棚尾おやじの会



日進オヤジの会



鷺塚ぱす&ます



西端おやじの会